

JOYO BANK NEWS LETTER

2022 年 7 月 27 日

レンゴー株式会社向けシンジケーション形式のグリーンローンへの参加について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、レンゴー株式会社（代表取締役社長兼 COO：川本 洋祐）を借入人とするシンジケーション形式のグリーンローン※¹に参加しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本グリーンローンで調達する資金は、(1)バイオマスボイラおよび RPF※²製造設備の新設、(2)木材由来の 100%生分解性素材であるセルロース微粒子プラントの新設に充当されます。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンとして掲げ、持続可能な地域社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする地域の全てのステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続けてまいります。

※1 グリーンローン

企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の使途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートングを通じ透明性が確保されたものを指します。

なお、本グリーンローンは、国際金融業界団体の LMA(Loan Market Association)、LSTA(Loan Syndications and Trading Association)および APLMA(Asia Pacific Loan Market Association)にて策定された「グリーンローン原則（2021 年版）」及び環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン(2020 年版)」との適合性について、第三者機関である株式会社日本格付研究所(JCR)から「セカンド・パーティー・オピニオン」を取得しています。

※2 RPF (Refuse paper & Plastic Fuel)

主に産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙および廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料のことを指します。

(参考)

- ・レンゴー株式会社ホームページ：<https://www.rengo.co.jp/>
- ・株式会社日本格付研究所（JCR）による「セカンド・パーティー・オピニオン」の詳細：<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

記

1. 本ローンの概要

借 入 人	レンゴー株式会社
契 約 締 結 日	2022 年 7 月 27 日（水）
組 成 金 額	50 億円
アレンジャー兼エージェント	三井住友銀行
貸 付 人	常陽銀行ほか 11 社



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5
Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

資 金 使 途	(1) バイオマスボイラおよび RPF 製造設備の新設 ・利根川事業所敷地内（茨城県坂東市）に、木質チップおよび RPF を主燃料とするバイオマスボイラを新設。LNG からの燃料転換を図ることで CO2 排出量削減が期待される。 ・また、RPF 製造に当たって、事業所近隣からの廃プラスチック等を受入れることで、産業廃棄物の適正処理にもつながる。 (2) 木材由来の 100%生分解性素材であるセルロース微粒子プラントの新設 ・金津工場敷地内（福井県あわら市）のセルロース微粒子製造工場に隣接した新プラントを建設。セルロース微粒子への代替により、マイクロプラスチックビーズ起因の海洋汚染防止が期待される。 ・また、新プラントでは新技術(新規連続法)を導入し、薬品原単位および電力原単位の低減を図る。
---------	---

2. レンゴー株式会社の概要

本 社 所 在 地	大阪府大阪市北区中之島 2-2-7 中之島セントラルタワー
設 立	1920 年 5 月 2 日
資 本 金	31,066 百万円
事 業 内 容	1 段ボール、段ボール箱、紙器、その他紙加工品の製造・販売 2 板紙（段ボール原紙、白板紙、紙管原紙等）の製造・販売 3 軟包装製品、セロファンの製造・販売 4 重包装製品（ポリエチレン重袋、クラフト紙袋、フレキシブルコンテナ等）、樹脂加工品の製造・販売 5 包装関連機械の販売 6 各種機能材商品の製造・販売 7 不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業 ほか
企 業 概 要	レンゴーグループは、1909 年（明治 42 年）に段ボール事業を創業以来、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPI レンゴーとして、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージの開発に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献しています。 近年は、中期ビジョン「Vision115」のもと、事業活動に伴う環境負荷の低減に全社を挙げて取り組んでいます。

以上